



日本プライマリ・ケア連合学会
九州ブロック支部



発行人:支部長 瀬戸 信二
社会医療法人春回会

活動報告

【佐賀県】

日本プライマリ・ケア連合学会佐賀県支部 活動報告

1. 佐賀県支部会員数

医師：36名 歯科医師：1名 薬剤師：2名 その他：3名 計：42名（令和5年6月現在）

2. 活動報告

会名称/日程	内容		参加人数
第2回 JPCA 佐賀セミナー 2023年8月3日開催 予定 (WEB)	症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (特別編5)	座長：多胡 雅毅 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部) 司会：鋪野 紀好 (千葉大学医学部附属病院 総合診療科) ディスカッション： 志水 太郎 (獨協大学 総合診療医学) 佐々木 陽典 (東邦大学医療センター大森病院 総合 診療・急病センター) 高橋 宏瑞 (順天堂大学医学部 総合診療科) プレゼンター： 宇野 純加 (佐賀県医療センター好生館) 馬田 裕子 (佐賀県医療センター好生館) 指導医・レクチャー： 龍 知歩 (佐賀県医療センター好生館 救急科) 甘利 香織 (佐賀県医療センター好生館 救急科)	
佐賀県支部 第8回学術集会 2023年11月11日 (土) (ハイブリッド開催予定)	シンポジウム 「プライマリ・ケア×心不全(仮)」	座長：多胡 雅毅 藤原 元嗣 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部) 演者：兼田 浩平 (佐賀大学医学部附属病院 循環器内科) 浅香 真知子 (佐賀記念病院 循環器内科) 他未定	
	診断推論戦略セッション 「症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (特別編6)」	座長：多胡 雅毅 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部) 司会：鋪野 紀好 (千葉大学医学部附属病院 総合診療科) ビデオレクチャー：和足 孝之 (島根大学医学部附属病院 総合診療医 センター)	

		ディスカッション： 志水 太郎 (獨協大学 総合診療医学) 佐々木 陽典 (東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病センター) 高橋 宏瑞 (順天堂大学医学部 総合診療科) プレゼンター：未定	
--	--	--	--

第2回 JPCA 5th Case Discussion Seminar
症例検討から学ぶ 診断推論戦略 by JUGLER (特別編5)
 2023年 8月3日(Thu) 19:00~20:30 (オンライン開催)
 参加費 無料

JUGLER
Japanese Union of General Practitioners

座長 多胡 雅哉 佐賀大学医学部附属病院 総合診療部
 司会 樋野 紀好 千葉大学医学部附属病院 総合診療科
 ディスカッション
 志水 太郎 獨協医科大学 総合診療医学
 佐々木 陽典 東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病センター
 高橋 宏瑞 順天堂大学医学部 総合診療科
 プレゼンター
 宇野 純加 佐賀県医療センター好生館
 馬田 祐子 佐賀県医療センター好生館
 指導医・レクチャー
 龍 知歩 佐賀県医療センター好生館 救急科
 甘利 香織 佐賀県医療センター好生館 救急科

参加登録方法 / 右のQRコード、または下記URLより参加登録をお願いします。(登録締切:7月28日)
 参加登録URL:<https://forms.gle/7joGmji4ewFEik2z7>

単位 認定 / 日本プライマリ・ケア連合学会 0.5単位
 専門医・認定更新のための単位
 プライマリ・ケア認定医科の認定単位 1単位
 日本医師会生涯教育制度認定講座 2単位

主催 日本プライマリ・ケア連合学会九州ブロック 佐賀県支部
 共催 佐賀大学医学部附属病院 医師育成・定着支援センター・総合診療部

JPCA佐賀県支部事務局 (住所:多胡・高橋) TEL 0952-34-3000
 日本プライマリ・ケア連合学会 〒049-0501 佐賀市橘島 5丁目1番1号 FAX 0952-34-2091
 佐賀大学医学部附属病院 総合診療科 E-mail jpcasaga@gmail.com

【宮崎県】

日本プライマリ・ケア連合学会宮崎県支部 活動報告

今年度の九州支部総会・学術大会を宮崎県担当で開催いたします。現在大会に向けて準備中ですが、多くの皆様にご参加いただけるような会にしたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

日本プライマリ・ケア連合学会 第18回九州支部総会・学術大会

「with コロナ時代のまちづくりとひとづくり」

会 期：2024年1月20日(土)・21日(日)

会 場：宮崎県医師会館 (ハイブリッド開催)

大会長：吉村 学 (宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授)

【鹿児島県】

日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島県支部 活動報告

(1) 日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島支部会 第12回総会・講演会

日時：令和5年5月20日(土) 18:30~20:30

場所：鹿児島市医師会館3階大会議室 (対面開催)

主催：日本プライマリ・ケア連合学会 鹿児島支部会

後援：鹿児島県医師会

講演：「誤嚥性肺炎におけるサルコペニア・嚥下障害・栄養の問題と対応」
 国立大学長寿医療研究センター 老年内科医長 前田 圭介 先生

参加者：27名

(2) 第64 鹿児島地域医療教育講演会

日時：令和5年5月20日(土) 18:00~19:00

場所：鹿児島市医師会館3階中会議室(対面開催)

主催：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター
鹿児島大学医学部

鹿児島県くらし保健福祉部 医師・看護人材課

共催：日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島市部会

後援：鹿児島県医師会

演題：「地域医療に必要な誤嚥性肺炎予防とケアの新常識」

国立大学長寿医療研究センター 老年内科医長 前田 圭介 先生

参加者：33名

(3) 第65回鹿児島地域医療教育講演会(予定)

日時：令和5年6月22日(木) 18:00~19:00

場所：宝島よりWEB配信

主催：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター
鹿児島大学医学部

鹿児島県くらし保健福祉部 医師・看護人材課

共催：日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島市部会

後援：鹿児島県医師会

演題：「りくさんぽ-宝島編-」

鹿児島県立大島病院 松元 陸 先生

【長崎県】

日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部 活動報告

2023年3月25日に日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部第10回学術集会・講演会と第8回長崎県ポータルフォリオ研修会を下記プログラムの通り開催した。

第10回学術集会・講演会終了後、2023年度総会を開催した。

〈第8回長崎県ポータルフォリオ研修会〉

日時：2023年3月25日 9:00~12:00

場所：長崎大学医学部

担当：中桶 了太(平戸市民病院)

座長：近藤 慶(上戸町病院)、福井 翔一(長崎大学病院総合診療科)、
最勝寺 佑介(国立長崎医療センター総合診療科・総合内科)、
中桶 了太(平戸市民病院)

会場担当：山梨 啓友(長崎大学病院総合診療科)、濱田 航一郎(長崎大学病院総合診療科)、
小笹 宗一郎(長崎大学病院総合診療科)、上原 裕規(長崎大学病院総合診療科)
高山 隼人(長崎大学病院地域医療支援センター)

発表者：大野 渚(長崎医療センター総合診療科・総合内科)

草野 晋平(長崎医療センター総合診療科・総合内科)

安田 淳 (長崎医療センター総合診療科・総合内科)
野口 栞 (長崎医療センター総合診療科・総合内科)
山田 琢生 (長崎大学病院総合診療科)
日高 悠希 (長崎医療センター総合診療科・総合内科)
濱田 航一郎 (長崎大学病院総合診療科)
吉岡 瑞姫 (長崎医療センター総合診療科・総合内科)
高橋 康太郎 (長崎大学病院総合診療科)
平 篤 (長崎大学病院総合診療科)
上原 裕規 (長崎大学病院総合診療科)
樋口 悠真 (上戸町病院)
安倍 千鶴 (長崎医療センター総合診療科・総合内科)

教育講演：大西 弘高 (東京大学医学系研究科医学教育国際研究センター)
「ポートフォリオ作成のポイント～メンタルヘルズ領域について～」

〈第10回日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部学術集会・講演会〉

日 時： 2023年3月25日 13:00～17:30

場 所： 長崎大学医学部

大会長： 前田 隆浩 (長崎大学病院総合診療科)

特別講演：(講師) 中村 伸一 (おおい町国民健康保健名田庄診療所)

「在宅ケアと看取りから学んだ 人生100年時代の健幸学」

研究発表会 (ポスターセッション)：

【ポスターセッション①～⑥】 座長：山梨 啓友 (長崎大学病院総合診療科)

【ポスターセッション⑦～⑫】 座長：和泉 泰衛 (国立病院機構長崎医療センター総合診療科)

① “Multimorbidity and its behavioral risk factors in Japanese community-dwelling people: Cross-sectional analysis from the Nagasaki Islands Study (NaiS).”

Wenbo SONG¹、Hiroto YAMANASHI²、Mika Matsuzaki³、Joel Gittelsohn³、Poppy Mallinson⁴、Judith Lieber⁴、Yukiko Honda⁵、Shogo Akabame²、Samantha Rex³、Sanjay Kinra⁴、Takahiro Maeda²

1. Nagasaki University School of Tropical Medicine and Global Health (長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科)

2. Department of General Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences

3. Department of International Health, Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health

4. Department of Non-communicable Disease Epidemiology, London School of Hygiene & Tropical Medicine

5. Department of Community Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences

② 「地方都市の睡眠専門クリニック実績から考える睡眠・覚醒障害診療体制整備」

近藤 英明^{1,2,3}

1. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科総合診療学分野

2. 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

3. 茨城県立睡眠医療クリニック

③ 「睡眠専門クリニックにおけるCOVID-19へのO410対応の検証」

近藤 英明^{1,2,3}、高松 みよ子³、高田 眞弓³、伊藤 真理³、富永 陽子³、宇梶 孝³、岡崎 好美³、岩島 孝夫

3、別井 一栄³、清水 圭子³

1. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科総合診療学分野
2. 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構
3. 茨城県立睡眠医療クリニック

④ 「血清 25(OH)ビタミン D 濃度は、どれくらい低値となると妊婦レストレスレック症候群に関連するのか？」

高橋 実紗子^{1,2}、宮崎 あすか¹、周尾 卓也³、江藤 宏美¹、近藤 英明^{4,5}

1. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科リプロダクティブヘルス分野
2. 長崎大学病院看護部
3. 北陸大学医療保健学部医療技術学科
4. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科総合診療学分野
5. 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

⑤ 「長崎大学新生を対象としたメンタルヘルス健診における睡眠問題の検討」

中道 聖子^{1,2}、近藤 英明^{2,3}、小川 さやか¹、中田 奈々¹、古林 正和¹、木下 裕久¹、前田 真由美¹、前田 隆浩²、西野 友哉¹

1. 長崎大学保健センター
2. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科総合診療学分野
3. 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

⑥ 「当院食思不振患者に対して、チェックリスト作成・活用についての報告」

照屋 敦規¹、菊地 結貴¹、高橋 優二¹、上之郷 眞木雄¹

1. 社会医療法人春回会 井上病院

⑦ 「当院における有機リン中毒患者の実態調査」

日高 悠介¹、森 英毅¹

1. 国立病院機構 長崎医療センター 総合診療科

⑧ 「急性発症の胸骨痛に対して乳癌術後約 16 年の胸骨転移・再発と診断した症例」

野口 栞¹、森 英毅¹、最勝寺 佑介¹、鳥巢 裕一¹、森 隆浩¹、永井 友基¹、佐藤 俊輔²、三浦 史郎²、前田 茂人³、和泉 泰衛¹

1. 国立病院機構 長崎医療センター 総合診療科
2. 国立病院機構 長崎医療センター 病理診断科
3. 国立病院機構 長崎医療センター 乳腺・内分泌外科

⑨ 「診療看護師実地研修 -総合診療科研修を行う意義-」

江口 貴彦¹、伊藤 健大¹、森 英毅²

1. 国立病院機構 長崎医療センター 統括診療部
2. 国立病院機構 長崎医療センター 総合診療科

⑩ 「【活動報告】地域密着型急性期病院による在宅医療（訪問診療・訪問看護）の立ち上げ報告」

門田 耕一郎^{1,2}、川向 真弓³、松下 千華子^{3,4}、黒田 敬子³、今西 真理子³、山下 将平³、中田 紀子³、須崎 奈緒³、鹿谷 洋志⁵、君野 真由美⁶、坂口 薫⁷、谷口 育昌^{2,8}、渡海 大隆⁹、高村 博光¹⁰、野元 健行^{2,11}

1. 重工記念長崎病院 総合診療科
2. 重工記念長崎病院 内科
3. 重工記念長崎病院 訪問看護ステーション
4. 重工記念長崎病院 医事課
5. 重工記念長崎病院 リハビリテーション科
6. 重工記念長崎病院 地域連携室
7. 重工記念長崎病院 事務部

8. 重工記念長崎病院 糖尿病内科
9. 重工記念長崎病院 外科
10. 重工記念長崎病院 耳鼻咽喉科
11. 重工記念長崎病院 消化器内科

⑪ 「長崎大学総合診療ぶらいまりけあサークル「そぷら」の設立と活動」

大石 佳奈¹、浦野 あおい¹、橋本 康史¹、大塩 達也¹、後藤 光¹、上田 尚佳¹、橋爪 凜¹、宮田 潤²

1. 長崎大学医学部医学科
2. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科離島・へき地医療学講座

⑫ 「松浦市の多職種連携～『モコちゃんに看取られる』」

押漕 素子¹

1. 医療法人社団 壮志会 押漕医院

〈研究発表会受賞演題〉

【最優秀賞】

押漕 素子「松浦市の多職種連携～『モコちゃんに看取られる』」

【優秀賞】

1. 高橋 実紗子「血清 25(OH)ビタミンD 濃度は、どれくらい低値となると妊婦レストレスレッグ症候群に関連するのか？」
2. 中道 聖子「長崎大学新生を対象としたメンタルヘルス健診における睡眠問題の検討」



〈日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部 2023 年度総会〉

日 時： 2023 年 3 月 25 日 16:40～17:30

場 所： 長崎大学医学部

議 長：前田 隆浩

議事録署名人：前田 隆浩、山下 直宏

出席会員（23 名）、委任状提出会員（35 名）

議 題： （第一号議案）令和 4 年度収支決算
（第二号議案）令和 5 年度予算計画
（第三号議案）会則の改定
（第四号議案）次回学術集会・講演会

報 告： 2023 年の役員改選スケジュール

【福岡県】

日本プライマリ・ケア連合学会福岡県支部 活動報告

福岡県支部会では、今年3月4日に開催したハイブリッド型セミナーの事業振り返りを行なっています。本セミナーは本イベントでは101名申し込み（オンライン70名、現地参加30名ほど）があり盛況でしたが、会場設置などの負担もあり、ハイブリッドはやはり大変であるという所感でまとまりました。したがって、今後は年2回開催で、1回は完全オンライン、もう一回は総会で、対面のみで開催 とすることがいいのではと世話人会で議論しております。次の完全オンライン開催は2023年10月になる予定で、また企画が固まりましたらお知らせさせていただきます。

文責 日本プライマリ・ケア連合学会理事 吉田 伸

【熊本県】

日本プライマリ・ケア連合学会熊本県支部 活動報告

日本プライマリ・ケア連合学会 熊本県支部 2023年度 世話人会

日時：2023年4月26日（水）19時00分～20時30分

場所：オンライン開催（Zoom）

出席：（敬称略）緒方俊一郎（医師）、田中英一郎（医師）、澤田知宏（医師）、
高柳宏史（医師）、宮原洋（薬剤師）、佐藤寛美（看護師）

議題・報告事項

- ① 第17回日本プライマリ・ケア連合学会・九州支部総会・学術大会の会計報告
- ② 会則の改定について：副支部長を増員する議案
- ③ 熊本県支部の事務局の変更について：熊本県医師会から沢田内科医院にする議案
- ④ 会員体制について：多職種会員、女性会員を増やしていく議案
- ⑤ その他：世話人を追加する議案
：熊本地域医療勉強会の活動で参加してきている学生の支援をする議案
：専攻医の支援をする議案

文責 副支部長 田中英一郎

【大分県】

日本プライマリ・ケア連合学会大分県支部 活動報告

「宮崎大分総合診療つながるカフェ（Miyazaki Oita Sougou Shinryo Tsunagaru-cafe :MOST）」を開催しました。

2023年3月11日（土）、12日（日）に「宮崎大分総合診療つながるカフェ（Miyazaki Oita Sougou Shinryo Tsunagaru-cafe :MOST）」が開催されました。宮崎大学×大分大学の総合診療系講座のコラボ企画で、宮崎県延岡市アパホテル宮崎延岡駅前でした。1泊2日で、参加した学生は23名（大分14名、宮崎9名）、医療関係者を含めると44名が集いました。

企画①「やってみよう！複雑困難事例を紐解く、多職種カンファレンス」は吉村学先生（宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授）、梶田一旭先生（宮崎大学地域包括ケア・総合診療医学講座助教）の企画でした。慢性心不全などで施設入所中で、誤嚥性肺炎を繰り返す95歳男性の今後の療養先を決定する多職種カンファレンスを、患者家族や病院・施設・訪問看護スタッフの役を実際に演じながら行うという内容で、学生は果敢に取り組んでいました。単なるグループではなく、同じ方向性を目指すチームの重要性を実感することができました。

企画②「人生会議ってなんだ？～患者さんと向き合う前に自分で体験してみよう～」は藤谷直明先生（よつばファミリークリニック院長）の企画でした。「余命半年と告知された時、あなたは何を大切にしたいですか？」を

テーマに、4人グループで「もしばなゲーム (IACP 翻訳・制作・出版)」のヨシダルールを行いました。自分が大切にしていることを見つめ直す良い機会となりました。

夜にはZOOMにて懇親会が開催され、医師と学生がざくばらんに交流できました。

2日目は学生スタッフ企画である、企画③「学生からの挑戦状！患者、家族、多職種から聞き出す『おばあちゃんの幸せ』」が行われました。認知症が疑われる83歳高齢独居の女性について相談を受けた診療所医師役として、4-5人のグループで本人・長男・隣人・ケアマネ&民生委員の各ブースを巡って本人の生活状況や大事にしていることなどを探っていく企画でした。最後に現状を改善するためのアイデアを各グループで出し合う時間があり、学生ならではのユニークなアイデアが多く出されていました。

大分大学ではこの企画をきっかけに、総合診療に興味を持つ学生を中心に、総合診療・家庭医療を学ぶサークルも設立されました。また、本企画の成果報告について、宮崎大学と大分大学の学生が第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会でポスター発表を行い、大盛況でした。

このように2つの大学の学生がともに総合診療を学び、その楽しさを実感することで、将来総合診療に従事する医師の育成につながることを期待したいです。

文責：塩田星児（大分大学医学部 総合診療・総合内科学講座）



【九州支部】よりご報告

第 17 回九州支部総会において新設しました名誉会員につきまして、九州ブロック支部の発展のために多大な尽力をいただきましたことの功績に対し感謝の意を表し、秦 喜八郎先生を名誉会員として推戴し、名誉会員証を授与いたしました。



謝辞

この度は思いもかけず日本プライマリ・ケア連合学会九州支部より、名誉会員の称号をいただきありがとうございます。

産婦人科医の私がプライマリ・ケアに出会ったのは、城山先生(宮崎県医師会長 昭和 59 年～63 年)のお誘いで WONCA に参加して以来のことです。永井友二郎先生が「実地医家のための会」「日本プライマリ・ケア学会」を立ち上げ、「人間の医学」「患者中心の医療」を提唱、ご活躍をされていた時期だと思えます。

外野席から興味を持ったのは鈴木荘一先生と五人の有志による英、聖クリストファー・ホスピスの訪問(昭和 52 年 4 月)です。ミニホスピス、癌患者の在宅医療への道を開かれました。第 15 回の大会会頭であった渡辺武先生(千葉県医師会長)は、医師以外の人々にも参加を呼びかけられ、他職種連携・チーム医療の道を開かれました。第 30 回宮崎大会では学生の企画参加プログラムを導入しました。

日本プライマリ・ケア学会の悲願でありました日本医師会分科会への参入問題時には、たまたま日本医師会の執行部に居ましたが、日本医学会長 高久史麿先生と日本プライマリ・ケア学会会長 前沢政次先生の師弟関係が根底にあったと思っています。前沢先生と誓いあった学会員 5,000 人の目標もあつという間に 1 万人を超え安心しています。

日本プライマリ・ケア連合学会前理事長 丸山泉先生は、日本医師会長 横倉義武先生の後輩にあたるため存分の働きをされ、草場鉄周先生へ禅譲されました。

今回九州ブロック会員全員投票により選出されました瀬戸信二先生は、家庭医療学研修のため米国ミシガン大学に 2 回留学、長崎大学助教授、井上病院副院長と研究や臨床に優れた文武両道の達人です。近代医学発祥の地、長崎より新しい南西の風を巻き起こして下さい。

万感を込めて 20 年にわたる九州各県医師会の物心両面にわたるご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

秦 喜八郎